

第3回 地域連携ワークショップ ～人工衛星を活用した地域連携を目指して～

アジェンダ

■ 開催の趣旨

- ・ 本ワークショップは、大学や研究機関等と連携し、衛星データを活用した地域の課題解決を目指す。
- ・ 「ほどよし1号」などのデータを活用し、比企地域に点在する窯跡群や古墳群などの史跡の“見える化”。
- ・ 大学教育や地域振興・町おこしへの利用について、学生の参加を含めた意見交換。

■ 日時：平成 26 年 7 月 18 日（金）16：00 から 18：00

■ 場所：坂戸市文化施設オルモ（東武東上線「北坂戸駅」徒歩 2 分）

■ 共催：東京電機大学理工学部、一般財団法人リモート・センシング技術センター

■ 協賛：坂戸市、彩の国大学コンソーシアム

■ 参加機関：10 機関

鳩山町

○東京大学、京都大学、城西大学、○大東文化大学、立正大学、○東京電機大学

アーベルソフト、日立製作所／中央研究所

一般財団法人リモート・センシング技術センター

○：パネルディスカッション時のパネリスト

■ 構成：

第一部：東京大学 中須賀真一教授によるご講演（60分）

「超小型衛星による新しい宇宙開発への挑戦」

第二部：ディスカッション 45分（開始前休憩 10分）

- ・ 前回までのWSにおける現在のフォローアップ状況の説明
- ・ ほどよし衛星データの地域における活用に関し、中須賀先生を中心としたディスカッション
- ・ 東京電機大学の小型衛星開発・利用プロジェクト

※上記終了後、懇親会の開催を予定しております。是非ご参加下さい。

※アンケートのご協力宜しくお願い致します。